

まちかどニュース

市内各地の最近の話題や名所・旧跡を紹介します。



広報とちぎをスマホやタブレットに毎月配信。広報紙アプリ「マチイロ」をご利用ください。



八百比丘尼堂例祭

西方町真名子地区には、不老不死伝説で知られる八百比丘尼尊像(市指定文化財)が祀られた八百比丘尼堂があり、命日が旧暦8月25日とされていることから毎年9月に例祭が行われています。今年は9月26日、小雨の降るなか開催されました。この年に一度の例祭の時には、お堂が開かれ八百比丘尼尊像を間近に見ることができま



端正なお顔を近くで拝見することができました



▲地元の方が今も大切にしている八百比丘尼堂



色とりどりのバラの花が咲いています



▶大花壇には季節の花が植栽されています

バラ園が見ごろを迎えました。岩舟町下津原にある「とちぎ花センター」で、10月、バラ園が見ごろを迎えました。バラ園には青いバラや皇室や世界の王室の名前がついたバラなど、さまざまな種類を観賞することができます。また、花センターには、熱帯や亜熱帯の植物を常設する大型温室やカフェを併設する多目的ホールもあり、ここでは季節ごとの企画展や体験教室を開催するなどして、訪れた人々を楽しませています。

渡良瀬遊水地のヨシ灯り2021

10月23日・24日、藤岡渡良瀬運動公園で、渡良瀬遊水地のヨシ灯り2021が栃木市と小山市の共同開催で行われました。ヨシを組み合わせて制作した「ヨシ灯り」を約80基、公園内に並べライトアップし、幻想的な光景を作り出しました。寒い中でしたが、約1,000人の方々が訪れ、ヨシ灯りを楽しみました。



今にも飛び立ちそうなヨシ細工のコウノトリ

◀七色にかがやく、ヨシで作ったヒンメリ(ヒンメリとは北欧生まれの多角形モビールです)



▶フラワーアレンジメント体験教室



展示された作品(一部) ▲▶

都賀文化祭開催
10月23日から31日まで、都賀公民館において、今年で第45回となる都賀文化祭が開催され、文化協会の方々が展示、歌謡、音楽、芸能の各部門でそれぞれ日頃の成果を発表しました。(歌謡、音楽、芸能部門の発表は、コロナ対策のため無観客で行われました。)訪れた人たちは、様々な展示品を参観したり体験教室に参加して楽しみました。

さわやかレディース学級 草木染め

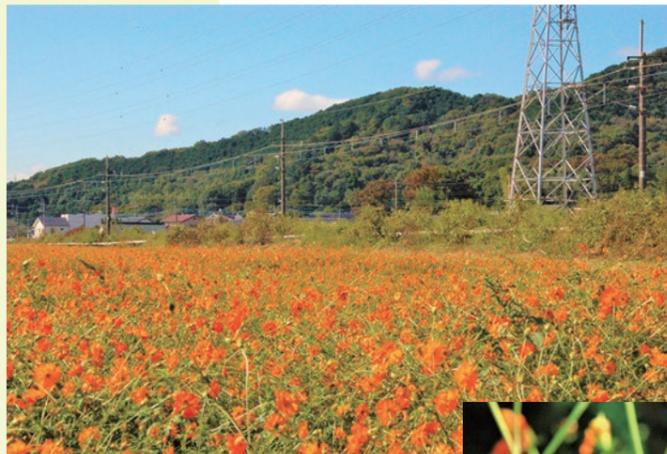
10月20日、大宮公民館にて、とちぎ花センター職員を講師に招き、草木染め講座が行われました。インド茜の木から抽出した染料を使用し、ストールを薄い赤色に染色しました。染料で染め、洗い、定着させる工程を繰り返し、1時間ほどで完成します。参加した13名の皆さんも、きれいな染め上がりに満足したようでした。



▲ムラなく染め上がりました



▶染料を温めてストールを浸します



▲両毛線沿いのコスモスの風景

両毛線沿いのコスモス畑
9月下旬から10月下旬、下皆川の両毛線沿いの休耕田では、キバナコスモスが秋風に揺れる風景が楽しめます。このコスモス畑は、先の永野川の決壊による水害からの復興を願い、下皆川環境保全会が種まきを始めたものです。



▶秋風にゆれるキバナコスモス

家族への揺るがない 想いを形に

リノベーション、そこには一人ひとりの暮らしにフィットする、たくさんの可能性と新しい価値があります。



丸和住宅グループ

▼お電話でのお問い合わせはこちら

☎0120-08-1180

営業時間/9:30~18:00 定休日/毎週火・水曜日

▼WEBでのお問い合わせはこちら

とちぎリフォーム

www.tochigi-reform.jp

